

新たな100年へ

池井戸貞夫会長年度テーマ



国際ロータリー会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly Report

E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp <http://rc.nagoya-seinan.org/>

第526回例会No.32平成18年3月16日(木) 晴

ロータリーソング 「奉仕の理想」
出席報告 会員49名中34名出席
出席率 72.34% 出席計算人数47名
修正出席率 2月23日 93.62%
スピーカー 森 孝子さん、大塚嘉彦さん

ニコBOX

本日の卓話 森孝子さん、大塚嘉彦さん宜しく
お願いします。 池井戸会長、鈴原幹事、
渡邊、植木、後藤、水野、服部、近藤、吉田、
和田、長江(敬称略)

森さん 卓話で皆にご無理を申します。ご協力の
程よろしくをお願いします。

大塚さん 今日卓話です。よろしくお願い致しま
す。

安江さん 山崎川の桜のつぼみも少し大きくふく
らんできました。開花が待ち遠しい今日此の頃で
す。

藤田さん 本日のウィークリーレポートに写真を
載せていただきました。Dテーブルを代表して!

川原さん 本日医師会のため早退します。

磯部さん 今日早退させていただきます。

先日の創立記念例会 ラ・グランターブル ドゥ キ
タムラ、美味しい料理と楽しいひと時をすごせました。
親睦活動委員の皆さん有難うございました。

中川、長谷川千廣、(敬称略)

本日合計 47,000円

新入会員紹介

	氏名	松尾雄二郎 Matsuyama Shunji
	紹介者	川原弘久、植木広次
	職業分類	企業保険
	生年月日	1966年5月11日
	趣味	ゴルフ
事業所	ブルデンシャル生命保険㈱ シニアライフプランナー 460-0008 名古屋市中区栄2-1-1 日土地名古屋ビル16F TEL052-220-0561 FAX052-222-8053	

卓話

「お受験」

大塚嘉彦



「今日も元気でいこまいか」

森孝子



原稿は割愛させていただきます。

2006.3.2 例会 委嘱状伝達

下記の通り、2006-07年度 地区委員会からの委
嘱状を池井戸会長から西川博さんに伝達いたし
ました。

2006-07年度 GSE 委員会 委員



「社会奉仕事業活動」

社会奉仕委員長 藤野正敏



名古屋港RAC 献血例会 の ご案内

名古屋港RACは、本年度30周年を迎え、その記念事業として、日本赤十字の活動協力を行っており、勉強会や献血活動強化のための時間を設けてまいりました。その活動の集大成のひとつとして、献血活動を下記の通り予定しております。皆様のご協力をお願い致します。

日時 2006年3月26日(日)10:00~16:00

場所 栄広場(三越前)

献血手帳をお持ちの方はご持参下さい。

次回例会のご案内

3月30日(木) 第528例会 100万ドル例会

「第8回クラブフォーラム PETS 報告」 会長レク

RI会長メッセージ(RJWより転載)

ロータリーを話題に

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん



私が国際ロータリー会長として、会長年度中の旅行計画を立てた際、多くのロータリアンたちに会うには、インターシティーミーティング(IM)が一番いい方法だろう、という考えに達しました。私はクラブに、同じ町や地域で開いているそれぞれの週1回の

例会を、夜の合同例会に変更するようお願いしました。私は基調講演を引き受け、行事の前後にロータリアンと歓談したいと申し出ました。私はこれまで会長が訪問したことがない、あるいは長い間訪問していない地域を訪問することも計画しました。

ロータリアンの考えを知る

私はこれらの例会に大きな期待をかけていました。このような例会を数多く経験した今、私はこの方法が私の期待をはるかに超えたものであったといわなければなりません。ロータリアンとその配偶者は私にとっても親切で、感謝してくれました。彼らは両手を広げて私を歓迎し、私と話し、共に笑い、最初の瞬間から私をくつろいだ気分させてくれました。

私はロータリアンに、私たちの組織のために優れた活動を続けるよう、また、あまり活発でない会員には、これからはより幅広く活動に参加するよう望みながら、これらのIMに出席しました。私は主に国際的な観点からロータリーの話題を提供しました。

そして、私は皆さんの話を聞きました。話を聞きながら、私はロータリアンたちがロータリーの指導者に何を求めているかが分かりました。これは私たち全員にとってとても価値があります。というのは、RI理事会メンバーが理事会室でいい仕事をするためには、ロータリアンたちは私たちに何を求めているかを、メンバーそれぞれがよく理解していることが不可欠だからです。私が出会ったロータリアンたちはいろいろな要望を述べますが、公共イメージの向上は際立った関心事の一つです。

枚挙にいとまがないロータリーの活動

ロータリアンたちの中には、ロータリーがしばしば報道関係者から忘れられているといった強い欲求不満が存在します。ポリオ撲滅計画をメディアに取り上げてもらうといったありきたりのことだけでは、国際ロータリーは、いつもでないにしても、ほとんど忘れられるだろうと思われれます。ポリオ プラスだけがロータリーではありません。ほかに、もっと多くの話題があります。援助がなかったら飢えに苦しむことになる子どもたちに、毎日の食事を提供しているのがロータリアンです。目の見えない人々がデジタル(音声)の世界にアクセスするのを手伝っているのも、ロータリアンです。家のない子どもたちのための施設をつくっているロータリアンたちもいます。国家規模の大災害を援助するのもロータリアンです。途上国の飲み水確保に、井戸のボーリングをしているロータリアンたちもいます。生活向上のための基盤を提供するために、人々を教育しているのもロータリアンたちです。こうした活動は枚挙にいとまがありません。

公共イメージの向上を

とはいっても、私たちがどんなことをしているかを人々に知ってもらう、という面に目を向けると、私たちはもっといい仕事ができただけです。それが、アメリカカリフォルニア州のロータリアン、メアリー マーガレット フレミング氏(第5230地区)を委員長として、公共イメージ支援グループを発足させた理由です。このグループは、ロータリーの話題を人々に伝えるのを手助けする上で、全世界のロータリアンたちに快く受け入れられています。私は各地での公共イメージの向上も目にしていきます。今後もこの取り組みを十分に活用し、みんなで超我の奉仕を通じて、国際ロータリーのすばらしい指導力を世界中に示し続けようではありませんか。

Carl-Wilhelm Stenhammar

2005-06 年度国際ロータリー会長

(RI 指定記事 提供: ロータリーの友)

2006/3/1